

公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 臨時理事会(令和2年度7月12日)

議 事 録

【日時】令和2年7月12日(日) 20:00~22:30

【会場】WEB 理事会 (WEB 会議アプリケーション Zoom 使用)

定刻に役員 15 名およびオブザーバー参加 1 名の WEB 参加 (会議アプリケーション Zoom を使用) および WEB 出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっている事を確認し、本会議は成立した事を清水会長が宣言した。

【次第】1、出席確認 2、議長選任 3、議事録署名人選任 4、議事 5、閉会の辞

【出席 16 名】理事：清水 (慎)、草山、秦、藤田、古思、清水 (克)、大屋、平岡、秋澤、
宋、長野、橋口、北原

監事：日野、森下

オブザーバー：三田

【欠席 0 名】

【議長】清水 (慎) 【書記】藤田、三田 【議事録署名人】清水 (慎)、森下、日野

【議題】

〔1〕報告事項

1. 入退会の報告

定期理事会にて報告予定にて割愛

2. みなし決議案

(1) 承認済み

①6月4日提案：入会審査 山内誠一郎氏承認の件 (6月6日承認)

②6月20日提案：組織図承認の件 (6月23日承認)

付随して：浅原直美氏 (学術部、普及部、財務部)、

高橋宏氏 (学術部、普及部)、

野田彩花氏 (組織共済部)、

三田正樹氏 (総務部) の部員承認

③6月20日提案：旧役員の理事 ML・共有フォルダ登録承認の件 (6月23日承認)

④6月20日提案：学生委員会新設承認の件 (6月23日承認)

⑤7月6日提案：広報部メールマガジン事業計画中止の件 (7月8日承認)

⑥7月6日提案：第6回災害医療研修会「講師案」「テーマ案」の件 (7月8日承認)

3. 会務報告 (業務執行理事報告)

(1) 6月17日臨時業務執行理事会

藤田副会長より、議事録を基に、6月17日臨時業務執行理事会の要約された説明があった。

4. 各部報告

(1) 総務部：

①慶弔：供花の送付の件

藤田副会長より、会員岩泉瑠實子氏（4月26日他界）について事務局より、会員（元役員）窪田勤氏ご母堂様（5月31日他界）について藤田送付（立替）したことの報告があった。

②定款施行規則改訂について

藤田副会長より、学生委員会の新設が理事会にて承認され、定款施行規則(第18条、部会および委員会)の改訂をした事の説明があった。

③三田正樹部員の理事会オブザーバー参加について

藤田副会長より、先般理事よりご理解をいただいた件である、理事会へ三田正樹総務部員の今回の理事会出席について、今後の総務部引継ぎ、書記か活動のため、今回参加いただいている事の説明があった。今後の理事会参加については、改めて理事に審議事項にて相談する旨の説明もあった。

④郵送物発送予定について

藤田副会長より、理事の共有フォルダに本年度の郵送物日程を改めて格納した旨の説明があり、まずは7月17日発送、7月10日締切にて免許保有証を中心とした郵送部日程がある旨の説明があった。

⑤役員の月間事業報告について

藤田副会長より、新理事に向け、月間事業報告の説明があった。データは理事の共有フォルダにあり、締め切りは翌月15日を目途にする事の説明があった。記載について不明な点がある場合は、藤田副会長まで問合せをしてほしい旨の補足説明があった。

⑥本年度第2回事務局職員との面談の件（北原）

北原総務副部長より、報告書を基に、本年度第2回目の事務局との面談（打ち合わせ）が7月9日に開催された事の報告があった。出席者は総務部は北原副部長、林氏（フォロー）、事務局は稲垣氏、定成氏、吉田氏であり、個別の面談と全体面談が行われ、事務局の効率化、稲垣氏退職における後任者について話し合われた事の説明があった。詳細は報告書を参照の事。

(2) 財務部：

古思財務部長より、業務執行理事会で相談している2件の提案について、改めて後ほど理事会審議事項にて提案する旨の報告があった。

古思財務部長より、6月21日、7月3日に財務部での打ち合わせが行われ、税理士事務所タカノ半田様とも打ち合わせを行い、その際に、当会の会計について先方より

改定案が提案された事の報告があった。

古思財務部長より、新型コロナウイルス感染症の現況を受け、当会事業も大幅に変わっており、予算の再編成が必要との説明があり、各部より再提出をいただきたいとの説明があった。

(3) 組織共済部：

清水（克）組織共済部長より、近日中に学生委員会北原管理者も交え、WEBにて委員会を開きたい旨の説明があった。

(4) 学術部：

①7月1日（水）イブニングセミナー開催報告

大屋学術部長より、7月1日のイブニングセミナーでは菅原亘先生（元キヤノンラグビー部ヘッドトレーナー）より膝の臨床の実際をテーマに開催した事、参加者は30名強であった事、事後アンケートでは概ね良好な意見であった事、但しWEB開催の弱点を指摘された点が一部あり、その点については改善を次回に目指したい事の説明があった。

②今後の予定について

大屋学術部長より、9月2日（水）は、町田雅秀先生を講師にイブニングセミナーをWEBにて開催予定、また、10月4日（日）は新人研修・学術講習会の開催を予定している事の説明があった。なお、新人研修は鈴木康玄先生（薬日本堂講師）、学術講習会は鳥谷部創治先生（当会会員、全日本鍼灸学会理事）、長瀬眞彦先生（吉祥寺中医クリニック院長、日本東方医学会会長）より、鍼灸および漢方（中医）における診察の実際をご教授いただく予定、開催については、WEB開催とするかは検討中である旨の説明があった。

また、WEB開催にあたって、宋理事、平岡理事にご尽力をいただいている事の説明と御礼も伝えられた。

(5) 広報部：

秦副会長より、会報誌、情報誌については部内で相談し進める旨、原稿の依頼があると思うが、協力いただきたい旨の説明があった。

(6) 普及部：

秋澤普及部長より、本年度はスポーツケアボランティアが感染症の影響で無くなり活動が少ないのが現状である旨の説明があった。

来年度に向けて清水会長（普及部フォロー）、藤田統括も交え、部内で相談をしていきたいと考えている旨、まだ右も左も分からないので協力を理事各位へいただきたい旨の説明があった。

(7) 保険部：

長野保険部長より、6月14日に第1回初心者講習会が開催され部員5名、参加者4名の参加があり、密にならないように貸し会議室を借りて開催した事の説明があった。9月の療養費適正運用研修会に関しては、WEBと会場のハイブリットで開催したいと考えている事の説明があった（会場はWEB参加の方法が難しい方への配慮として）。

(8) 危機管理委員会：

秦副会長より、第6回災害医療研修会の準備中であり、講師や内容案についてはみなし決議で提案している内容を考えている旨の説明があった。

(9) 学生委員会：

藤田副会長より、県内に5校の養成校がある県は少なく（東京や大阪などを除き）、その利点は活かすべきである事、主体的に活動できるような委員会とする事で、やりがいやその後の会務への魅力を感じてもらえる部署にしたいと考えている旨の説明があった。

清水会長より、学生委員会と学生会員の違いを整理してほしいとの意見が挙げられた。藤田副会長より、学生会員は受け身の参加者、学生委員会は主体的な運営、運営補助の中で業団と言う存在に関わる人材育成にも繋がる場、また、主体的に関わる事で業団の中でのやりがいを感じてもらえる場を目指したいと考えている旨の説明があった。具体的には、提案時に記載している通り、まずは学術部や普及部の運営補助、また、次年度以降は例えば学術講習会の1つを学生委員会で発案した内容を企画し、やりがいを涵養する事も良いと考えている、まずは北原管理者に組織共済部と協力し業団説明会での学生会員、学生委員会の周知を行っていきたいと考えているとの説明があった。

宋理事より、周知の範囲について質問があり、藤田副会長より、本件についてはまずは業団説明会や学校への案内にて周知していく事が望ましいとの回答があった。

秋澤理事より、学生会員のその後について質問があり、藤田副会長、清水（克）組織共済部長より、学生会員は学生の間のみであり卒業後は（割引制度を活用しつつ）正会員への移行を促す旨の説明があった。

5. その他

秦副会長より、インフォビジョン様との業務内容取り交わしおよび契約書は現在作成中との説明があった。

日野監事より、急ぎ作成する必要性が言及された。過去に取り交わし書の作成が途中でされているはずのため、それを早急に完成させる事が望ましいとの意見があった。

〔Ⅱ〕 審議事項

(1) 総務部：

①部会（定款施行規則）について

既にみなし決議を経て、学生委員会の設置および定款施行規則の改訂は審議を経ているが、役員各位からの意見により、この機会に他の部会の確認、見直しが提案された。

本理事会での議論の末、組織共済部は従来通りとし、広報部と普及部は性質に違いや部長をそれぞれ委嘱する事が多く、本部会はそれぞれ独立した部会とする事にて全会一致で承認した。なお、それ以外の部会は据え置きとなった。また、それに伴い定款施行規則の一部改訂も行う事となった。

(2) 財務部：

①財務業務の外部委託について

古思財務部長より、別紙に基づき、会計業務を外部委託する件の提案があった。意義としては、今後、誰が行ってもできる運営、より適正な財務処理を目指す旨の説明があった。

大屋学術部長より、全ての業務か決算期だけ業務を委託するかとの質問があり、古思財務部長よりほぼ全てでの委託を検討している旨の説明があった。

理事各位からの意見として、金額が高い可能性の意見が挙げられた。また、清水会長より、相見積もりの必要性の意見があった。

清水（克）組織共済部長より、部員数が増えているので更に支出が増える可能性の意見があった。

日野監事より日鍼会の公認会計士に相談できる環境が過去はあり、埼玉県、大阪府、千葉県もそちらを活用している旨の説明があり、清水会長より師会長 ML にて挙げられた各県の事情の確認、日野監事より大阪府の状況を聞いてみるとの意見があった。

古思財務部長より、今回検討している税理士事務所タカノ様のメリットとしては、公益社団法人の会計に精通している事、事務所に近い事、当会が使用している会計ソフトを共有している事が大きい旨の説明があった。その上で、日鍼会での財務業務の外部委託や他県の事情を相見積もりとする形とし、改めてそれを参考とし今回の提案が相応しいか、理事会に提案する事となった。

②財務部専用のパソコン購入について

古思財務部長より、別紙に基づき、セキュリティも考慮した上で現在まで財務部では専用パソコンが無いため、購入をすべきとの提案があった。

平岡広報部長、宋 IT 担当理事より、話を聞いている 10 万円以下のスペックでも十分との意見があった。

全会一致で承認した。その上で、本件については IT 関係に詳しい平岡広報部長、宋 IT 担当理事とも相談誌購入する事となった。

③予算の再編成について

古思財務部長より、別紙に基づき、本年度は新型コロナウイルス感染症の状況にて当初の事業計画および予算で進めるには無理があり、公益社団法人として、公益比率および余剰金の観点からも予算の再編成の必要性がある旨が説明された。

以上の事より、昨年度作成、完成しているの予算シートを各部統括より各部部長に資料提供もしくは財務部より既存予算シートを各部に再度送付し、それを基に統括と相談しながら再編成を改めて財務部に提出する事にて全会一致で承認した。

(3) 組織共済部：

①リーフレット作成について

清水（克）組織共済部長より、資料に基づき、現在のリーフレットが旧来の内容になっているため改訂作業をしたい旨の説明があった。

藤田副会長より、既に一昨年、昨年においても提案がある内容であり、進める事に問題ない旨の意見があった。

清水会長より、活用法、活用対象についての質問があった。清水（克）組織共済部長より、入会案内検討者や学生に配布、また新入会員に配布するものである事の説明があった。

清水（克）組織共済部長より、作成枚数については事務局より例年の発注状況や配布状況を確認するとし、一任いただきたいとの説明があった。

宋 IT 担当理事より、ホームページに掲載が可能かとの質問があり、清水（克）組織共済部長より可能との回答があった。

草山副会長より、枚数が不足した場合に増刷は可能かとの質問があり、清水（克）組織共済部長より、データを作成するので増刷は可能との回答があった。

本件について、枚数も最初の発注では多く作成しすぎない枚数を設定する事とし全会一致で承認した。

なお、清水（克）組織共済部長より、記載内容について各部に依頼相談をする事もあるが協力してほしい旨の補足説明があった。

(4) 学術部：

①WEB 講習会機材購入の件

大屋学術部長より、別紙に基づき、WEB 講習会の機材購入の提案があった。なお、予算に関しては、第 1 回学術講習会を中止しており、その予算を充当する事の説明があった。また、会議アプリケーション ZOOM や CISCO と同様、他部署の講習会等にも活用を共有したい旨の説明があった。

本件について、全会一致で承認した。

(5) 広報部：

① 当会ホームページの SSL 対応について

宋 IT 担当理事より、別紙に基づき当会ホームページ（HP）における SSL の対応

の提案があった。なお、SSL とは、HP のセキュリティを担保する証明書の発行となり、今回、当会の HP は日鍼会のサーバーを使用しており、日鍼会の SSL 改訂に伴い、当会も同様のセキュリティ対応を希望する旨の提案である事の説明があった。費用は初回の 3 年間は総額 22,000 円、その後の 3 年間は 11,000 円である事の説明があった。

大屋理事よりどの程度のレベルの証明かとの質問があり、秦副会長より証明レベルは低くなく公益社団法人などの証明に適したもののとの回答があった。

清水会長より、事務所 PC のセキュリティも懸念しているとの意見があった。藤田副会長より、事務所に限らず当会全体の PC やその他 IT セキュリティは重要な案件であり、その点について現在 IT 担当宋理事と相談し各部署へリサーチ中である事の報告があった。

(6) 普及部：

特に無し。

(7) 保険部：

特に無し。

(8) 危機管理委員会：

特に無し。

(9) 学生委員会：

特に無し。

(10) その他：

特に無し。

〔Ⅲ〕 その他

①清水会長より、この指とまれプロジェクト（当会自主勉強会）による医鍼連携推進研究会の発足を検討している旨の説明があり、更に現実的になった際に改めて報告する旨の説明があった。

②清水会長より、神奈川県では未病への取り組みが行われており、当会も何らかの形で関わっていけると良い旨の意見があった。

秦副会長より、県の未病関連団体として、団体登録はしている旨の説明があった。

藤田副会長より、清水会長同様に何らかの形で参画できる事が望ましい旨の意見があり、その点については各理事もアンテナを張り、当会ですべき事、出来る事などの意見を理事会で挙げて相談していく事の提案があった。

次回、令和2年度第3回理事会は、10月4日（日）学術講習会終了後 18:00～20:00
開催予定

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事および監事は記名押
印する。

令和2年7月12日

代表理事 清水慎司

監事 森下元

監事 日野博

